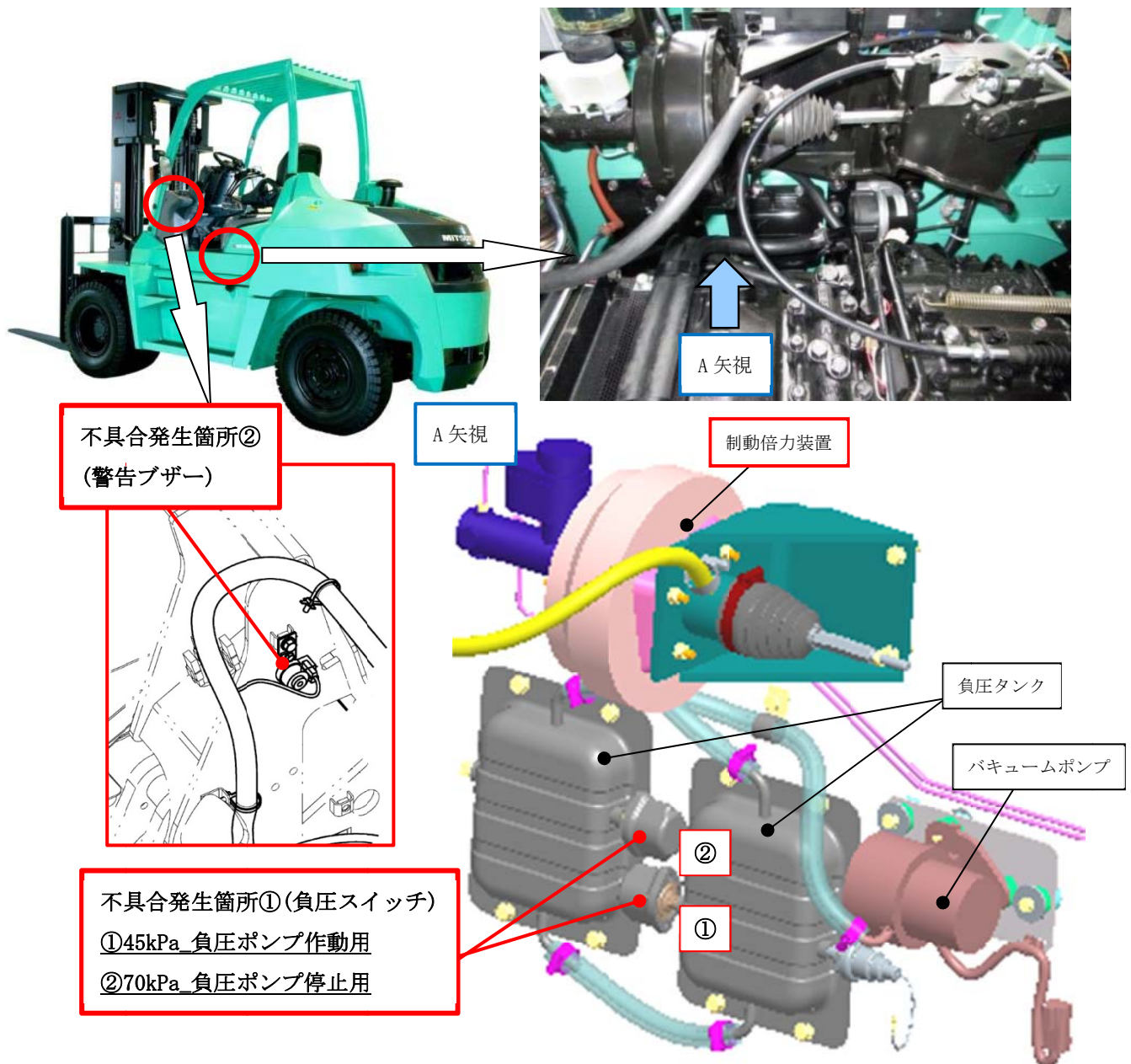


改善箇所説明図



基準不適合内容

制動倍力装置のバキュームポンプの作動を制御する負圧スイッチにおいて、製造時にスイッチ内のシリコンゴムの二次加硫をしていないものがあり、スイッチ内にシロキサン等のガスが発生し、可動接点が固定接点から離れる際のアーク放電により、接点部に絶縁性の高いシリコン化合物が生成されることがある。そのため、接点の抵抗が増え導通不良となり、負圧タンク内の負圧が低下しても、負圧スイッチが作動しないためバキュームポンプが作動せず、ブレーキペダルの操作力が増大し、制動距離が長くなるおそれがある。また、負圧タンク内の負圧が低下した際、警告ブザーが鳴るが、音量が小さいため、運転者が負圧低下に気付かないおそれがある。

改善内容

二次加硫していないシリコンゴムを使用している負圧スイッチを良品に交換する。また、全車両、警告ブザーを対策品に交換する。

識別：改善実施済車には、車体前面フロントカバー上隅の運転者席側にNo.4055 のステッカーを貼付けるとともに、負圧タンク上面に白色のペイントを塗布する。